

報道発表資料

令和2年8月14日
独立行政法人国民生活センター

**「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」の受付状況（3カ月のまとめ）
- 特別定額給付金関連のみならず、持続化給付金に関する相談も -**

国民生活センターでは、新型コロナウイルス感染症対策の給付金等に関する消費者トラブルの相談を受け付けるため、令和2年5月1日より「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」¹（相談受付時間：10時～16時（土曜、日曜、祝日を含む）、相談特設番号：フリーダイヤル0120-213-188）を開設しました。

今回、「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」の開設から3カ月間の受付状況を取りまとめました²。

1. 相談件数

「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」では、5月1日（金）～7月31日（金）までの3カ月間で4,460件の相談の電話を窓口にて受け付けました。特別定額給付金等の申請方法など給付金関連の相談件数は4,068件で、そのうち特別定額給付金等の詐欺が疑われる相談件数は325件でした。

また、当初、給付金の手続き等に関する問合せが多数寄せられたことから、「特別定額給付金手続きの問合せ」「持続化給付金手続きの問合せ」「給付金関連以外の消費生活相談」に関する問合せを自動で振り分け、関係機関への案内を実施するためのコールフローシステム³を6月1日（月）から導入しました。

受付期間	受付件数 (総件数)	給付金関連	
		給付金関連	詐欺が疑われる相談
5月1日（金）～31日（日）	2,835	2,721	51
6月1日（月）～30日（火）	960 (11,086)	825	89
7月1日（水）～31日（金）	665 (5,580)	522	185
合計	4,460 (19,501)	4,068	325

※1. 相談件数には、問合せを含む。

※2. 受付件数は窓口で受け付けたもの。（ ）内は受付件数と自動振り分け・案内分を合わせた総件数。

¹ 7月21日から「給付金・豪雨関連消費者ホットライン」に名称を変更。

² 開設から1週間の受付状況は「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」の受付状況（第1報）（2020年5月8日） http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20200508_1.html

1か月間の受付状況については、「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」の受付状況（第2報）（2020年6月2日公表） http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20200602_1.html

³ コールフローシステムとは、掛け手からの電話を一定のルールに基づいて、効率的に分配する仕組みのこと。

2. 3カ月間の相談概要

開設当初は、特別定額給付金の申請方法や給付日などに関する問合せが多数を占めましたが、6月に入り、申請方法、給付状況などの問合せは減少し、詐欺が疑われる相談が増加しました。さらに7月は、持続化給付金の不正受給を持ち掛けるなどの詐欺が疑われる相談が寄せられ、7月の大多数を占めました。

3. 最近の主な相談事例

給付金等の詐欺が疑われる相談では、調査という名目で給付を受けた人に通帳などの持参を求める、追加で給付するための手続きとあって不審な URL を含むメールが届くなどの他、本来支給対象ではない人が「持続化給付金をもらえる方法がある」などと持ち掛けられる相談が目立っています。

【事例1】特別定額給付金の振込完了のハガキが届いてすぐに不審な電話で個人情報を聞かれた

特別定額給付金の振込完了ハガキが送られてきた。ポストからハガキを取り自宅に入ると、すぐに電話が鳴った。出ると「政府の出向機関の者です。特別定額給付金が届いているかどうかを調査しています。無作為に選ばれたあなたに電話しました。特別定額給付金は受け取られましたか」と聞かれた。受け取ったと答えると、「わかりました。報告が必要なので、調査しています。キャッシュカードと通帳を持ってすぐに下ろしてください。どこの銀行ですか。口座番号も教えてください」と言われた。不審だったので電話を切ったが、口座番号を聞き出す詐欺だと思う。

(相談者：60歳代 女性)

【事例2】大手プラットフォーム業者から「追加で給付金を提供する」とのメールが届いた

大手プラットフォーム業者が提供しているフリーメールアドレスを利用している。大手プラットフォーム業者から「追加で給付金を提供する」という内容のメールが届いた。金額は30万円で、最終受付だという。手続きについては添付の URL から行うようで、大手プラットフォーム業者名を騙った詐欺メールだと思うが、どうだろうか。

(相談者：40歳代 女性)

【事例3】携帯電話にかかってきた電話で持続化給付金を受け取るアルバイト話を持ち掛けられた

自分の携帯電話に知らない事業者名を名乗る男性から着信があった。バイトアプリに登録している人を対象に電話をしているとのことで、アプリ名が二つ挙げられ、自分はその内の一つに登録していたので話を聞いた。「仕事をしていますか」という質問はあったが、生年月日や学生であるかなどは聞かれていない。アルバイトの案内とのことだったが、男性の説明によると、「自宅近くの税務署へ行き電子申告の登録を行い、IDを受け取ったら、電話でIDと報酬の振込先口座を伝える。その後、振込先口座に持続化給付金100万円が振り込まれたら、80万円を手数料として支払い、残りの20万円があなたへの報酬になる。名目上は1カ月のアルバイトとして扱われるが、実質1時間程度の作業で済む。定員は100名で残りが20名なので急いほうがいい」とのことだった。不審なので自分は断ったが、情報提供したい。

(相談者：20歳代 男性)

【事例4】友人から「弁護士が代理で持続化給付金を申請してくれる」と言われた

友人から「弁護士が代理で持続化給付金を申請してくれる」と言われ、事業者でもないのに申請していいのかと思ったが、収入がない時だったので紹介してもらうことにした。無料通話アプリで、申請に必要な身分証、源泉徴収、確定申告の電子申告に必要な利用者識別番号等を提出した。現在書類作成中でこれから申請が行われるのだが、良くない行為であるとの記事などを見た。まだ受給していないが、今後どうしたらよいか。相手が本当に弁護士なのか不明で、電話番号や会社名などもわからない。

(相談者：20歳代 男性)

4. 消費者へのアドバイス

- **暗証番号、口座番号、通帳、キャッシュカード、マイナンバーは「絶対に教えない！渡さない！」**

電話やメールで「特別定額給付金が届いているかどうかを調査」「追加で給付金を提供する」などと連絡があっても、個人情報、銀行等の通帳や口座番号、キャッシュカード、マイナンバーカードなどの情報や金銭は絶対に教えず、渡さないようにしましょう。

- **正確な情報収集に努めましょう**

新型コロナウイルス対策は、暮らしに影響する新たな施策が講じられる可能性があります。被害に巻き込まれないためには、最新の情報を正確に把握するように努めましょう。

首相官邸「暮らしとしごとの支援策」

https://www.kantei.go.jp/jp/pages/coronavirus_shien.html

- **持続化給付金の受給資格がない人は、受給できると持ちかけられても絶対に応じない！⁴**

持続化給付金は事業者（個人事業者を含む）に対して支給されます。事業を行っておらず受給資格がないサラリーマンや学生、無職の人が、自身を事業者と偽って申請・受給することは犯罪行為（詐欺罪）にあたると考えられます。誘いに乗った消費者自身も罪に問われる可能性が高いため、絶対に誘いに応じないでください。

- **「怪しいな？」と思ったらご相談ください**

・消費者ホットライン：「188（いやや!）」番

最寄りの市区町村や都道府県の消費生活センター等をご案内する全国共通の3桁の電話番号です。

・「給付金・豪雨関連消費者ホットライン」：0120-213-188（10時～16時）

⁴ 新型コロナウイルスに便乗した悪質商法にご注意！（速報第7弾）－受給資格がない人に持続化給付金の不正受給を持ちかける手口に気をつけて！－ http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20200710_1.html

http://www.kokusen.go.jp/info/data/coronavirus_khotline.html

- ・お住まいの市区町村
- ・お近くの警察署
- ・警察相談専用電話 #9110

(参考) ※2020年8月1日時点

- ・特別定額給付金コールセンター（総務省）：0120-260-020（9:00～20:00）
<https://kyufukin.soumu.go.jp/ja-JP/index.html>
- ・持続化給付金事業 コールセンター（経済産業省）：0120-115-570（8:30～19:00）
<https://www.jizokuka-kyufu.jp/>